

平成29年度第3回豊田市子ども読書活動推進協議会 議事録

日 時：平成30年3月5日（月）午後2時～午後3時

場 所：豊田中央図書館6階多目的ホール

出席者：委 員 8名

関係課 市民活躍支援課、次世代育成課、子ども家庭課、保育課、
学校教育課

事務局 6名

指定管理者 2名

（1）第3次豊田市子ども読書活動推進計画について

委 員：事業25「家庭読書充実のための啓発・促進」について。

ここに書かれているホームページ等は、図書館のホームページの
ことか。

事 務 局：主に図書館のホームページを指す。SNSについても同じ。

委 員：情報発信の対象は、中高生なのか。

事 務 局：中高生のみ限定しない。

委 員：事業2「放課後児童クラブ・居場所づくり事業等における団体貸出
の充実」について。

居場所づくり事業とはどのようなものか。

次世代育成課：放課後児童クラブの後の時間、地域の有志の団体により、交流の機
会を提供する事業である。

委 員：居場所づくり事業は、市内に何箇所あるのか。今後増えていくのか。

次世代育成課：現時点で、20箇所ある。補助金で運営している。ニーズがあれば
増やしていく予定。

委 員：目標値は4年間で目指す値なのか。また、1年ごとの中間目標はあ
るのか。

事 務 局：そのとおり。中間目標は設置していない。

委 員：とても現実味のある目標値だが、もう少し高く設定しても良いので
はないか。

事 務 局：理想は高く設定したいが、少子化で読書量が減っていく中、少しで
も増加させるため、現実味のある数値になっている。

委 員：読み聞かせ頻度とは、保護者が読み聞かせをする割合のことか。

事 務 局：そのとおり。

- 委員：小学生のうちから、読書の機会を増やしていきたい。新学習指導要領により、英語の授業が始まる。簡単に読み聞かせできる英語の本が増えると良いと思う。
- 委員：事業10「乳幼児向けの講座の充実・拡大」について。
2歳児の講座とは、0歳児～2歳児まで一緒に行うのか。
- 事務局：2歳児の講座は、2歳児のみで行う。
- 委員：1歳児、2歳児が参加できる講座やイベントが少ないため、今後も続けてほしい。
- 委員：3、4か月児健診のブックスタートでは、一対一で絵本の読み聞かせを行っているが、3歳児健診などではどのように読み聞かせしているのか。
- 子ども家庭課：健診の待合スペースで、保育士が大型絵本で読み聞かせを行っている。
- 委員：2年ほど前に、園児向けの絵本リストを作ったが、健診時に配布するなど活用してほしい。
- 事務局：検討する。
- 委員：計画の成果の検証方法だが、より正確に評価ができるようアンケート等を工夫する必要があると思う。
- 事務局：文科省などが行っている調査票を元に、豊田市でもアンケートを行う予定。
- 委員：豊田市の特性に応じて、山間部と都市部を分けて集計するなどしてはどうか。
- 事務局：検討する。
- 委員：アンケートを行う頻度はどれくらいか。
- 事務局：毎年行えるものは実施するが、基本的には教育行政計画に合わせて、2020年に行う予定。
- 委員：事業15「交流館などにおけるおはなし会・出前講座の開催」
事業17「地域支援センターにおけるおはなし会の充実・家庭支援講座の案内」について。
どのような意図で2つの事業に分けているのか。
- 事務局：施設によって担う役割・利用者が違うため、2つの事業に分けている。交流館は、ママさんサークルやサロンがよく利用し、地域支援センターは未就園児と保護者が利用する。
- 委員：事業17「地域支援センターにおけるおはなし会の充実・家庭支援講座の案内」について。
なぜ担当課に図書館管理課が入っていないのか。

- 事務局：地域支援センターは、保育課が主体となって運営している施設であるため、図書館管理課は入っていない。一方、交流館では、おはなしグループのボランティアがおはなし会を行っている。
- 保育課：地域支援センターは、園に併設されている施設である。そのため、保育士で対応をしている。
- 委員：子どもが自発的に読書をするようになるために、ポイントを集めたら何かもらえる、などのイベントや企画はあるか。
- 事務局：おはなし会に参加するとポイントがもらえ、貯まると景品と交換できる。読書に関心を持つきっかけとなると考えている。
- 委員：読書をするメリットとして、語彙力・読解力が身につくなどが挙げられる。小さいころから本に親しむことが大切だと感じる。また、小さいころから本に触れ合うために、大人用のおすすめ本のリストなどがあっても良いと思う。
- 事務局：語彙力や読解力など成績に関することは、親の関心を引きやすい。

以上